

ともに	令和7年6月17日（火） 堺市立原山台中学校54期生 第1学年通信No.5 発行者：北村 朋也	
-----	--	---

54期生 平和学習

本校52期生（現中学3年）が6月12日から6月14日にかけて、沖縄方面へ修学旅行に行きました。修学旅行1日め【平和学習】として、沖縄県の県営平和祈念公園にて、＜平和宣言文＞を読みあげ、平和への願いを込めて1年生も、ともに作製に参加した千羽鶴の奉納が行われました。

このことに併せて、1年生では、各クラスで【平和学習】を行いました。戦争の歴史や＜52期生 平和宣言文＞を改めて、確認し、【平和】について考える時間としました。

【平和学習】を通して54期生みなさんが感じたことを共有します。みなさんの考えを共有することで、「平和な社会の実現について、自分事としてとらえ、行動できる」ようになってほしいと思います。

〔意見共有（原文ママ）〕

◆Aさん
今は戦争はないけどもし今あったら怖い。今も戦争してる国はあるけど戦争で得られるものは何もないと思う。

◇Bさん
戦争で誰が得をしたんだろうかと思った。いろんな人が亡くなったり、今でも苦しむ人がいたり。戦争で傷ついた人はいても、得をしたり喜んだ人はいなかったと思う。これから何をしても亡くなった人が生き返ることはないし、傷が癒えることもないし。これから私たちはどうしていけばいいのかなと思った。

◆Cさん
映像を見て、改めて戦争は残酷で二度と繰り返してはいけないことだと再認識して、平和宣言文では一言一言に重みを感じるような気がしました。三年生の合唱はハモリがきれいだし、歌詞のすべてに感情が込められていると感じました。伝えたいことも伝わったような気がしました。

◇Dさん
平和宣告文を聞いて、今の平和な生活がどれほどいいのかがわかりました。映像では戦争をするとたくさんの人が亡くなって、その証？が壁に刻まれているのが感動しました。歌では、すごく心に響きました。歌声や歌詞など、どれもすごく感動しました。

◆Eさん
私は戦争を経験していないので、戦争についてあまりわかりませんでしたが、三年生の平和宣言で、戦争の経験がない私たちにもできることはあると思ったし、今生きている私は幸せなんだと気づきました。

◇Fさん
戦争は昔起きたことで、今はあんまり関係ないことなのかなと思っていましたが、今の自分達にとっても関係のあることなんだなと思いました。戦争はとても残酷で、する意味があまりないということを知ることができました。たくさんの命を犠牲にして戦争することに何の意味もないこという事を改めて実感しました。そして、今この瞬間もどこかの国で戦争が起きているという事実にびっくりしました。

◆Gさん
本来失うはずじゃなかった、失うべきじゃない命まで失われてしまったことにすごく悲しいなと感じました。戦争さえなければ自分たちと同じように、それ以上にもっと色んなことに挑戦できたかもしれないし色んな楽しいことを知れていたかもしれないです。大事な人を失った家族の事を考えたらもっと残酷で、ほんとに戦争なんてなくなればいいのになと思いました。

◇Hさん
戦争がどれだけ悲惨なことなのがよくわかりました。そしてこれから平和な社会を実現させるために私にできることを考え行動できたらいいなと思いました。例えば戦争についてのことを他の人に教えたりしたいと思いました。

◆Iさん
平和の礎の前で歌うことがとても大切なことだなと思いました。亡くなられた方やその家族の方の気持ちとかを考えるととても辛いし悲惨だと感じました。戦争は絶対にあってはならないことだと思ったしこれからもそのことを受け継いでいかないとないと思いました。今の3年生のように自分も沖縄に行けたら戦争のことを思い出して亡くなられた方にしっかりと思いを伝えられたらなと思いました。これからも戦争のことを思い出し、これからの代に受け継いでいきたいととても感じました。

◇Jさん
私はこの授業全体で、すごく複雑な気持ちになりました。なぜなら、やりたくてやってないことを国の命令で動かされ、命を懸けて戦っていてすごくかなしいです。自分の今の生活がどれだけ幸せかもよくわかったし、今の生活があるのは、昔の戦争があってそれをしっかり受け継いでるからだと思うので、自分の後の世代も戦争というのも受け継ぎ、伝え平和な日本が続くといいなと思いました。自分はこれから戦争のことについてよく知り、しっかり伝えていくことが大切だなと思いました。ありがとうございました。

◆Kさん
戦争は怖くて二度と起こしてはいけなくと改めて知れた。自分は生まれてないし、実感、体験はしたことがないけどその時代はみんなが体験したくなくても起こってしまった事だし忘れてはいけなくと感じた。体験しいた人は少なくなっていく一方で戦争の悲惨さがわかってない人が多くなっていった戦争が起きているので話し合いがしっかりと行われる世界になればいいのになと思う。理解を深められる人が多くなっていけばいいと思う。

◇Lさん
戦争は本当に、悲惨で、残酷で、何の意味にもならない事なので、今後一切そんなことが起こらないように祈っています。とは言ってもこの世界では、今も戦争が起こり、沢山の命が失われています。その命が一つでも多く助かり、それぞれが未来に向かって前向きに走れる事を願っています。これは他人事ではなく、私たちみんなの問題です。そのことを一時も忘れずに、命を尊重して、日々生きていきたいです。

◆Mさん
沖縄戦で亡くなった命について深く考えさせられる平和宣言文だと思いました。今生きていられるのは沖縄戦のようなことがあったからなんだなと感じました。



< 52期生 平和宣言文 >

私たちは今、平和の礎の前に立ち、心から祈りを捧げます。ここに刻まれている一人ひとりの名前は、かけがえのない命の証です。沖縄戦では、子どもからお年寄りまで多くの命が失われました。その中には、私たちと同じ年ごろの中学生もたくさんいました。その当時は、命を捨てることが称賛に値すると教えられていたことを知り、戦争について怖いイメージを持ちました。きっと、家の布団でゆっくりと明日の予定を楽しみにしたり、家族と一緒に過ごして温もりを感じたり、今の私たちのようにこれからの人生の選択ができる幸せなど戦争がなければできていたことではないかと想像します。戦争は人が武器を持ち、多くの人が亡くなり、家族がバラバラになる意味のないものです。今私たちは、二度とあのような悲しみを繰り返してはなりません。そのために、戦争と平和について自分の頭で考え、知り、感じ、伝え、残すことや一人ひとりが互いを思いやり、話し合いで問題を解決できる、そんな社会をつくっていく責任を持ち、生きていかなければなりません。平和とは、遠い誰かがつくるものではなく、私たち自身がつくるものだと思い、ここに誓います。沖縄戦によって亡くなられた方々に哀悼の意を捧げ、命の大切さを忘れず、争いのない未来のために、今日から自分にできることを、勇気をもって行動していくことを宣言します。

堺市立原山台中学校52期生一同

月桃

作詞・作曲 海勢頭豊

月桃ゆれて 花咲けば
夏のたよりは 南風
緑は萌える うりずんの
ふるさとの夏

月桃白い 花のかんざし
村のはずれの 石垣に
手に取る人も 今はいない
ふるさとの夏

摩文仁の丘の 祈りの歌に
夏の真昼は 青い空
誓いの言葉 今も新たな
ふるさとの夏

海はまぶしい キヤンの岬に
寄せくる波は 変わらねど
変わるはてない 浮世の情け
ふるさとの夏

六月二十三日待たず
月桃の花 散りました
長い長い 煙たなびく
ふるさとの夏

香れよ香れ 月桃の花
永久(とわ)に咲く身の 花心
変わらぬ命 変わらぬ心
ふるさとの夏



県営平和祈念公園 HP より

